



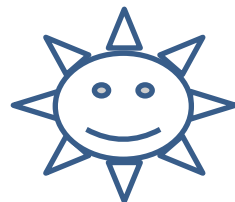
大和保育所
令和7年8月

夏本番になりました！先日水遊びが始まるのを機に、ひまわり組とすみれ組のみんなに『だいじだいじーこだ』という絵本を使って「プライベートパーツ（口や胸、性器）」のお話をしました。自分の体を大切に、お友達の気持ちを尊重できる。そして、犯罪から身を守るための意識を身に着けることができたと思っています。

この機会にお子さんと一緒にプライベートパーツについて話してみてください。またこの夏、海やプールに出かけることも多いと思います。公共の場での着替えの際はご配慮お願いいたします。

7月に発症した感染症

- ・新型コロナウイルス ぶどう1名
- ・手足口病 つくしんぼ1名



虫刺されからのとびひについて

子どもが蚊に刺されると大きく腫れて水ぶくれができることがあります。それを掻き壊して“とびひ”になることがあります。“とびひ”は知らないうちに周りにうつしてしまうことがあり、保育園では広がりやすい病気なので医師に診てもらい、治療してもらうことをおすすめします。

“とびひに”にならないようにするPoint

- 1.皮膚を傷つけないように爪を短くきりましょう。
- 2.蚊に刺されたら流水で洗い流す。
- 3.かゆみ止めを使ったり濡らしたタオルやハンカチで包んだ保冷剤などを当ててかゆみをやわらげる。

8月7日は「鼻の日」

鼻をすすると、鼻水が鼻の奥に入ってしまったたり、耳まで達して中耳炎の原因になることもあります。上手に鼻がかめるようになるようにおうちでも練習してみてください。

- ① 片方の鼻を押さえて、片方ずつかむ
- ② 鼻水を押し出すために口から息を吸う
- ③ ゆっくりすこしずつかむ

水の事故に注意しましょう！

先日も幼稚園のプールで子どもが溺れ、一時意識のない状態となる事故が起きました。プールに張られた水の深さは2～3cmだったということです。

乳幼児は溺れても自分でもがいたりせず、静かに沈んでいることが多く、自分が溺れていることが分かっていない可能性があります。

海や川、プールなど外ではもちろんのこと、お風呂など、おうちの中でも水の事故には気を付けましょう。

『子どもは静かに溺れます！』

毎年、夏になると車内で子どもが熱中症にかかり最悪の場合は亡くなってしまうという悲しい事故が多発しています。

「子どもが寝ているから」「すぐに戻るから」と、たとえ数分間でも車内に残すことは絶対に避けましょう。



— 1 週間に 1 回ほど子どもの爪切りをお願いします —

爪が伸びていると●友達をひっかく●折れる●ばい菌が溜まりやすく
指しゃぶり・爪かみ・肌を掻くなどでばい菌を直接取り込んでしまいます。